

1. 名称

本誌の名称は「沖縄県立看護大学紀要」(英文名: Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing)とする。

2. 発刊の趣旨

看護学の発展および沖縄県立看護大学における研究活動の質向上に資することを目的とする。

3. 投稿者の資格

紀要投稿者は、原則として本学の①教職員、②非常勤講師、③大学院生、④大学院修了生、⑤研究生とする。筆頭著者は投稿資格を有する者とする。投稿資格を有する者は学外の研究者を連名投稿者にすることができる。

4. 原稿の種類

投稿原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、短報、その他であり、それぞれの内容は以下の通りである。

論壇 Sounding Board

本学の教育及び保健看護領域に関する話題のうち、論議が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言。

総説 Review Article

取り上げた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し、今後の方向性を展望したもの。

原著論文 Original Article

看護学の知識の発展に貢献する独創的な論文であり、オリジナルなデータもしくは分析に基づいて得られた知見と実践への示唆が論理的に述べられているもの。

研究報告 Report

内容的に原著論文には及ばないが、研究の視点が独創的で研究結果の意義が大きく、看護学の発展に寄与すると認められるもの。

短報 Brief Report.

迅速に公表することで、他研究者や今後の看護学の発展に寄与する可能性があるかと判断したもの。例えばパイロットワークや小規模研究など。

その他 Other

萌芽的な視点を提示する「研究ノート」、調査の結果を共有する「資料」事例報告などがある。

5. 倫理的配慮

- 1) 人および動物が対象である研究は、研究倫理審査委員会での承認、承認番号を明記する。
- 2) 倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されている。
なお明記する際には施設や個人が特定されないように留意する。
- 3) 当該研究遂行や論文作成に際して、研究助成、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞に記載している。利益相反状態が存在しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則として、コンピュータソフト(MS WORD 等)で作成する。
- 2) 本文には頁数を入れ、さらに各頁の左端に行数を附す。
- 3) 原稿の記載方法は下記に従う。
 - (1) 原稿は A4 版横書き 40 字(全角)×30 行、英文 80 字(半角)×30 行を 1 頁とする。書体は、和文の場合「MS 明朝 10.5 ポイント」とし、英文は「Times New Roman 11.0 ポイント」とする。
 - (2) 図(写真を含む)表は、本文とは別に作成し、本文右余白にそれぞれの挿入希望箇所を指定する。なお、図表は、そのまま製版が可能な水準のものとする。
 - (3) 英数字や記号は半角で記述する。数字はアラビア数字で表記すること。数量の単位は原則として SI 単位に従い、記号で表す。
 - (4) 図表のフォントは、「MS ゴシック 8 ポイント」以上で作成する。
 - (5) 学名(微生物名など)はイタリック体で表す。
- 4) 投稿原稿の 1 編は本文、文献、図表を含めて原則として下記の頁以内とする。これを超えるものについては受領しない場合がある。なお、図表は、1 つを 0.5 頁と数える。

論 壇：4 頁以内
総 説：20 頁以内
原著論文：20 頁以内
研究報告：20 頁以内
短 報：10 頁以内
そ の 他：12 頁以内
- 5) 論文の構成：論文は下記の構成で作成する。

表紙、抄録(和文、英文)、本文、図表

- (1) 表紙：原稿の種類、表題、著者名、所属と連絡先(住所およびメールアドレス)、キーワード(日本語・英語それぞれ 5 個以内)、抄録文字数、本文頁数、図表の枚数を記す。

論文執筆者と所属機関の表示法(以下■は半角スペースを表す。)

苗字名前¹⁾、■苗字名前²⁾。(執筆者は氏名のみを記述する。)

1) 沖縄県立看護大学, 2) ●▲大学

- (2) 抄録(Abstract)：論壇、総説、原著論文、報告には、和文(600 字程度)および英文(300 語程度)の抄録を附す。英文抄録はダブルスペースで記載する。

抄録には、本文の内容を簡潔に整理する。

例：背景(Background)、目的(Objective)、研究デザイン(Design)、対象(Subjects)、結果(Results)、結論(Conclusion)

英語表記の例：

- ・英語のタイトルは次のように記述する(最初の文字のみ大文字にする)。Parenting behaviors of young mothers on a remote island of Okinawa: A comparison with other mothers
- ・Key Words は、例のように固有名詞、略語以外は小文字で記述する。
semi structured interview, triangulation, action research, QOL, Nuremberg Code

- (3) 本文の構成は、以下に準ずる。
例：はじめに(Introduction)、研究方法(Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結論(Conclusion)、謝辞(Acknowledgement)、文献(References)。本文構成を段階的に記述する場合、段階番号は、1. 2. 3. …とし、1. をさらに細分化する場合には1) 2) 3) …とする。
- (4) 当該研究遂行や論文作成に際して、研究助成、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞に記載する。

6) 文献の記載方法は下記に従う。

- (1) 本文中の文献の記載は、第1著者名と発行年次を括弧表示する。
例 (佐藤ら, 2009) (Jahana et al, 2011)
- (2) 文献リストの記載は、著者名のアルファベット順に列記し、同一著者の同年刊行の文献の場合は年号の後に a, b, …を附す。雑誌名は原則、和文は医学中央雑誌、英文は Index Medicus の採用する略語を用いる。いずれにも該当しないものは正式雑誌名を記載する。

7) 文献リストの記載例(■は半角スペースを示す。)

(1) 学術雑誌

① 学術誌収載論文の場合の基本

著者名. ■(出版年). ■論文タイトル. ■収載誌名, ■巻(号), ■開始頁-終了頁.

例

大城真理子, 神里みどり. (2016). 乳がん患者の受診遅延の概念分析. 日本看護科学学会誌, 36, 34-40.

Yamaguchi K. (2012). Rationalization and Concealment of Violence in American Responses to 9/11: Orientalism(s) in a State of Exception. Journal of Postcolonial Writing, 48(3), 241-251.

② 著者が3名を超える場合

著者 1, ■著者 2, ■著者 3, ■著者他. ■(出版年). ■巻論文タイトル. ■収載誌名, ■巻(号), ■開始頁-終了頁.

例

永山さなえ, 比嘉綾子, 塩川明子他. (2007). 若年妊産婦支援についての検討. 沖縄の小児保健, 34, 23-27.

Annk R, Eleme L, Hunai G, et al. (2015). Transforming of idea to practice. BMC Palliat Care, 105, 1-6.

③ オンライン版で、DOI (Digital Object Identifier)のある場合

著者名. ■(出版年). 論文タイトル. ■収載誌名. ■巻(号). ■開始頁-終了頁. ■doi:DOI 番号

例

Akamine, I, Uza, M, Shinjo, M, et al. (2013). Development of competence scale for senior clinical nurses. JPN J NURS SCI, 10. 55-67. doi:10.1111/j.1742-7924.2012.00210.x.

(2) 書籍

① 書籍の基本: 書籍全体の要約引用や引用が複数箇所の場合

著者名. ■(出版年). ■書籍タイトル. ■版名. ■出版元.

例

上田礼子. (2006). 人間生涯発達学. 改訂第2版増補版. 三輪書店.

Brian S. (2013). The Art of Skill and Nursing. 2nd edition. Forest.

② 書籍の一部引用

著者名. ■(出版年). ■書籍タイトル(開始頁-終了頁). ■発売元.

例

山本敬子(編), 中木高夫(看護診断 監修). (2006). エビデンスに基づく看護過程実践Q & A. 関連図で導く看護診断とケアプラン(pp10-15). 中央法規出版.

Waren G. (2014). Learning and health(pp15-30). Angel Book.

③ 編集本の一部引用(章著者表示有りの場合)

章著者名. ■(出版年). ■章タイトル. ■編者名. (編). ■書籍タイトル(pp 開始頁-終了頁). ■発売元.

例

森元さおり. (2009). ケアリング. 岩本喜美子. (編). 事例を通してあなたの学びをふかめる 実用書(pp47-71). 沖縄出版.

④ 編集本の一部引用(著者表示無し)

編者名(編). ■(出版年). ■章タイトル. ■書籍タイトル(pp 開始頁-終了頁). ■発行元.

例

浅野かおる, 奥野よしこ(編). (2012). 第Ⅲ章 がん治療. 根拠に基づく看護(pp164-167). げんき社.

⑤ 翻訳本の基本: 翻訳本の要約引用や引用が複数箇所の場合

原著者名. ■(原著出版年/翻訳書出版年). ■翻訳者名(訳), ■訳書タイトル. ■発行元.

例

Barkauskas V. H. 他. (1994/1998). 花田妙子, 山内豊明, 中木高夫(監訳). 牛久保美津子, 雄西智恵美, 嘉手苺英子, 亀井智子, 高橋広, 田中美智子, 花田妙子, 濱崎勲重, 本田良行, 本間照子, 松田たみ子(訳), ヘルス・フィジカルアセスメント下巻. 日総研.

⑥ 翻訳本の一部引用

原著者名. ■(原著出版年/翻訳書出版年). ■翻訳者名(訳). ■書籍タイトル. ■版名. ■(pp 開始頁-終了頁). ■発売元.

例

ホロウェイ I, ウィーラー S. (2002/2000). 野口美和子(監訳). ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで. 第2版. (pp25-45). 医学書院.

⑦ ウェブサイト

出版元. ■(出版年). ■タイトル. ■URL(検索日).

厚生労働省. (2008). 平成18年 国民健康・栄養調査結果の概要について.

www.mhlw.go.jp/houdou/2008/04/h0430-2.html (2009年7月15日現在).

7. 投稿手続

- 1) 投稿論文の内容は、他の出版物(国の内外を問わず)にすでに発表あるいは投稿されていないものに限

る。アクセプトされた論文を他に投稿する等の重複投稿は禁止する。

2) 他人の図表を転載する場合には、著作権の所有者より転載許可を受ける。

3) 原稿投稿時は下記に従う。

(1) 全ての原稿(表紙、抄録、本文、図表)について、正本1部、副本2部および返送用封筒(筆頭著者宛を記入)1部を同封する。副本には著者名、所属、謝辞等、著者名が特定される事項を記載しない。図表は1つにつき1頁とし、写真の場合は全てオリジナルを揃えるのが好ましいが、オリジナル1部と高画質の複写2部でもよい。

(2) 投稿時に「提出前チェックリスト」で記載法の誤りや提出物等の確認し、提出する。

(3) 英文(タイトル・キーワードも含む)はすべて **native check** もしくは専門家による英文校正・校閲を受けている。

4) 最終原稿投稿時は下記に従う。

(1) 原稿の採択ならびに掲載決定の通知を受けた場合には、期日までに下記を提出する。

①全ての原稿(表紙、抄録、本文、図表)2部

②電子ファイルの入ったメディア媒体 1つ

③著作権委譲にかかる承諾書

④英文校正・校閲完了の証明書

※転載許可書(著作権の所有者より転載許可を受けその旨を記したもの。所定の様式はない)

(2) 本文に附した頁数、行数の表記を消しておく。

(3) 電子ファイルは表紙、抄録(和文、英文)、本文、図(写真を含む)、表に分ける。必ず投稿前にファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを確認する。メディア媒体には著者名、論文表題を記載する。

(4) 封筒の表に「沖縄県立看護大学紀要原稿」と朱書きした上で、「沖縄県立看護大学紀要編集専門部会」宛に提出する。

8. 投稿原稿の採否

原稿の採否は紀要編集専門部会が決定する。紀要編集専門部会は査読者を選定し、査読を依頼する。査読結果等により、原稿の種類、内容の加除、訂正を求められることがある。

9. 校正

投稿者による校正は再校までとし、校正に際して原稿の変更あるいは追加は認めない。

10. 著作権

著作権は沖縄県立看護大学に帰属し、掲載後は本学の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。

その旨について、紀要編集専門部会が用意する著作権譲渡同意書に著者全員が署名して、最終原稿提出時に添付する。なお、投稿論文は電子情報開示されることを条件とする。

11. 公開

沖縄県立看護大学紀要は、大学ホームページにて公開する。

(作成年：平成 11 年)
(第 1 次改訂年月：平成 15 年 1 月)
(第 2 次改訂年月：平成 15 年 5 月)
(第 3 次改訂年月：平成 19 年 3 月)
(第 4 次改訂年月：平成 21 年 7 月)
(第 5 次改訂年月：平成 25 年 4 月)
(第 6 次改訂年月：平成 26 年 7 月)
(第 7 次改訂年月：平成 28 年 7 月)
(第 8 次改訂年月：平成 29 年 7 月)
(第 9 次改訂年月：平成 30 年 5 月)
(第 10 次改訂年月：令和元年 9 月)